

# 臓器間ネットワークを介した免疫難病の病態機序

～シェーグレン症候群の病理～

石丸 直澄 先生

東京科学大学 大学院 医歯学総合研究科  
口腔病理学分野 教授

日時：令和 7年6月19日（木）18：00～19：00

場所：昭和医科大学 1号館7階講堂

## 講演内容：

シェーグレン症候群は唾液腺や涙腺などの外分泌腺を標的とする自己免疫疾患です。その病態は未だ不明な点が多く、根本的な治療法に至っていないのが現状です。一方で、シェーグレン症候群は近年シェーグレン病という呼称に変更しようという世界的な動きがあります。これは、長年の多角的な研究の積み重ねから本疾患の病態が徐々に明らかにされ、「症候群」から一つの「病」へと疾患概念が確立したものと考えられています。

本セミナーでは、シェーグレン症候群の臨床病理学的な特徴を詳説するとともに、独自の疾患モデルの開発、免疫担当細胞の機能や環境因子を基盤とした病態解明ならびに新たな診断・治療法の開発に向けた取り組みを紹介します。さらに、免疫チェックポイント分子群を介する臓器間ネットワークを基盤とした自己免疫疾患の診断や治療法の開発を目指した新たな試みを紹介します。

多くの皆様と議論できることを楽しみにしております。

多くの先生方、大学院生の皆さんの参加をお待ちしております。



主催：昭和医科大学歯学部・口腔病理学部門  
お問い合わせ：昭和医科大学歯学部・口腔病理学部門  
田中準一  
E-mail：jtanaka@dent.showa-u.ac.jp

本セミナーはリカレント認定です。